

留 学 報 告 書

記入日： 年 月 日

所属学部／研究科・学科／専攻	文学部/文学科/日本文学専攻
留学先国	ポーランド
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文： ウッジ大学 現地言語： University of Lodz
留学期間	2021年3月～2021年7月
留学した時の学年	4年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	4年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	Faculty of Philology <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	年 月 日
明治大学卒業予定年	2022年3月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期： 2学期：3月上旬～7月上旬 3学期： 4学期： (記入例/1学期：4月上旬～7月下旬, 2学期：9月中旬～2月上旬)
学生数	
創立年	1945

留学費用項目	現地通貨 ()	円	備考
授業料		0円	協定留学のため明治大学の学費のみ
宿舍費		円	
食費		円	
図書費		円	
学用品費		0円	教科書などの購入はない
携帯・インターネット費		円	
現地交通費		円	(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		円	形態：
渡航旅費		円	
ビザ申請費		円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計		0円	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
22(ECTS)単位	<input checked="" type="checkbox"/> 申請中単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他(授業開始後に履修変更可能) ・履修の制限はありましたか?	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Polish Culture For Foreigners	
科目設置学部・研究科	Faculty of Philology
履修期間	3月～7月(夏学期)
単位数	6(ECTS)
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション(Teams を利用したリアルタイム配信型)(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Beata Grochala-Woźniak, Paulina Kaźmierczak
授業内容	ポーランドの文化について、国民性、祝日、歴史、音楽、言語などさまざまな側面から学ぶ。
試験・課題など	課題:グループプレゼンテーション (出席の足りない学生については、追加課題の提出が求められていました。) 成績は出席、積極的な授業参加、普段の課題、最終課題の個人プレゼンテーションによって決まっていたように思います。
感想を自由記入	ポーランドについて広く学べる授業でした。方言や国民性、音楽などの話は本では知ることができないような内容で面白かったです。現地に留学していたら役立ちそうな知識も多かったです。ただ、オンラインであっても、ポーランドに対する解像度が上がったように思います。先生の英語は聞き取りやすく、全体ディスカッションはかなり活発でした。 (病気によって担当の先生が変わっていたため、例年とは少し授業内容が違っているかもしれません)

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intercultural Communication	
科目設置学部・研究科	Faculty of Philology
履修期間	3月～7月(夏学期)
単位数	5(ECTS)
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション(Teams を利用したリアルタイム配信型)(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Monika Kopytowska
授業内容	各国のコミュニケーションの特徴とその文化的背景について様々な観点から文化を分析し、比較を通して学ぶ。
試験・課題など	課題:グループプレゼンテーション 試験:最終課題のグループワークと選択式のテスト(100問)
感想を自由記入	留学生のみで構成されていたため様々な文化をもった人たちが集まった授業で、それぞれの考え方やコミュニケーションの方法をディスカッションを通して学べる点でも充実感がありました。特徴的な文化の例として、日本が挙げられることが多く、かなりの頻度で意見を求められました。最終課題のグループワークは文化に関係していれば

	どのような形式でも良く自由度が高かったです。
--	------------------------

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Language in the Media	
科目設置学部・研究科	Faculty of Philology
履修期間	3月~7月(夏学期)
単位数	5(ECTS)
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Monika Kopytowska
授業内容	ニュースにおける言語の役割やニュースにおいて言葉やその表現方法がどのような効果をもたらすのかについて具体例を中心に学ぶ。
試験・課題など	課題: グループプレゼンテーション 試験: 最終課題のグループプレゼンテーション
感想を自由記入	近年、フェイクニュースや偏向報道などが問題視されていますが、そういった問題に関連した授業で興味深かったです。ディスカッションでは、意見が分かれることも多く、英語力だけでなく自分の意見を言う力も求められているように思いました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Philosophy of Religion	
科目設置学部・研究科	Faculty of Philosophy and History
履修期間	3月~7月(夏学期)
単位数	6(ECTS)
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Tomasz Sieczkowski
授業内容	宗教の定義、宗教の多様性、悪とは何か、宗教に対する考え方、死後の世界など、宗教に関連するテーマを哲学的な立場から考える。
試験・課題など	特になかったです。(ただし、授業前に教科書を読んで内容を理解する必要あり)
感想を自由記入	受講生が3名しかいない少人数の授業だったため、発言が必要であり積極的にならざるを得ない授業でした。哲学や宗教などの専門用語が多く、その点に難しさを感じました。ただ、自分だったらどの宗教の考えに共感するか、などの意見を自分とは違う文化的背景、価値観を持った人と交換できる点がとても面白かったです。リラックスした雰囲気での授業で、テキストで分かりづらい内容も先生がかみ砕いて説明していただき、勉強になりました。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)
<input type="checkbox"/> 就職 <input checked="" type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2) 進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2019年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	TOEFL の勉強、受験
10月～12月	留学選考
2020年 1月～3月	
4月～7月	ウッジ大学へのオンライン出願(留学延期決定後取り消し) JASSO などの奨学金の申請(留学延期決定後取り消し) 7月 留学の延期を決定(新型コロナウイルス感染症拡大の影響)
8月～9月	
10月～12月	11月 春学期からのオンライン留学選択 ウッジ大学へのオンライン出願(2021年1月入学許可) 2021年3月 授業開始

留学体験記

この留学先を選んだ理由:

- ①日本人学生が少なく、様々な国の留学生と交流ができそうだったから
- ②物価がヨーロッパの国の中で安い
- ③幅広い分野の授業が受講できる(特定の学部にも所属しながら他学部の授業が履修できる)、留学生が受講できる授業数が多いから
- ④ポーランドの宗教観や文化などが自分の興味に一致していたから など

留学生活全般:

結局、現地で勉強することは叶いませんでしたが、オンラインであってもこの大学を選んでよかったと思います。留学生活全般については、授業前の予習がきちんとできているときと、あまりできてないときに授業内容の理解度に差があったため予習は欠かせないなと感じました。また、オンラインのため時差の影響が良い意味でも悪い意味でもあったように思います。良かった点は、明治大学の授業と両立できたこと、悪かった点は、授業が長引いたり授業外でのグループの話し合いがあると睡眠時間が削られたことです。

留学を迷っている方:

留学を迷ったり、上手くいかか心配になったりすることがあるかもしれませんが、とりあえずやってみようという気持ちが大切だと思います。私の場合は英語が得意とは言えない状態で留学することを決めました。周りの留学希望の学生や留学経験者が流暢に英語を話している姿を見ては不安な気持ちになっていましたが、留学してみるとなんとかやっていくことができました。もちろん、留学に対してしっかり準備することは大切です。しかし、自信がないからとあきらめてしまうのはもったいないです。興味があったらぜひ挑戦してみてください。

留学を決めた方:

授業の履修や、現地の生活など分からないことが初めの内はたくさんあるかと思いますが、抱え込みすぎず事務室や先生、経験者に聞くようにすると良いかと思います。